

優秀賞

つながった親切

福島県 玉井小学校 四年

國分 穂乃花

私には2才の弟がいます。弟は私が7才のときに生まれました。弟が生まれるまで私は一人っ子だったので、7年間、お父さんもお母さんも私のことばかりだっこしたり、行きたいところに連れていってくれたり、ほしいものを買ってくれたりしていました。

でも、弟が生まれてから、お母さんのだっこは、全部弟にとられてしまいました。私のだっこしてほしくても、弟が泣いていると、

「待っててね。」と言って、泣くのが終わっても、ミルクをあげたりと、ちっともだっこしてくれません。お父さんには、弟がねているときに大きな声でおしゃべりすると、「おうくんが起きるから、静かにするんだよ。」と言われます。

私は、(弟なんていらなかったな) と思いましたが、弟はかわいいのでがまんしていました。

弟が一才になると、私もお手伝いができるようになりました。オムツがぬれたら交かんしたり、泣いていたらおもちゃでいっしょに遊んだりしました。お父さんやお母さんには、たくさんほめられました。

「いつもありがとう。」

と言ってもらえて、うれしかったです。

弟が2才になると、私のまねをして後ろをくっついて歩いたり、私と同じくペンで書いたりするようになりました。

私は弟があぶなくないようにお世話をしましたが、ぶついたり、転んだりしてすぐ泣くので、私が、

「だいじょうぶ？」

と言って頭をなでなですると、すぐ泣き止みます。

でも弟は、私が宿題をしているとぐちゃぐちゃにしたり、教科書におえかきをしたりして、私のことをイライラさせます。弟をおこると、お母さんに、

「まだわからないんだから、ゆるしてあげて。」

と言われるので、やっぱり弟はいらないと思ってしまいました。

夏休み前に、お母さんがうれしそうに私に教えてくれました。弟が通っている保育所の先生から、弟が泣いているお友達の頭をなでなでして、

「だいじょうぶ？」

と言ってあげたと言われたそうです。

私は今まで、私が弟のお世話をしても、弟は何もわからないと思っていました。でも弟が保育所のお友達に、私のまねをして親切にしてあげていると聞いて、すごくうれしかったし、弟はえらいと思いました。私の親切が弟につながっている、とうれしくなりました。

今、弟は、「ありがとう」が言えるようになりました。私が弟に親切にすると、すぐに「ありがとう」と言います。私は、もっともっとお世話したくなりました。